

2025-26 Weekly Bulletin **Tanabe Hamayu Rotary Club****クラブテーマ**

人は人のために
生きてこそ人

2025-26 年度 RI 会長
フランチェスコ・アレツォ

第 2640 地区ガバナー
北野治義

会長：山本康夫 幹事：大田忠博 会報委員長：光吉直也
事務所：〒646-0029 田辺市東陽 1-1 闘雞神社会館内
田辺はまゆうロータリークラブ TEL0739-26-6181
例会場：〒646-0029 田辺市東陽 1-1 闘雞神社会館 TEL0739-22-0155

創立年月日：1992 年 1 月 21 日 例会日：毎週火曜日 18:30～

URL：<http://www.aikis.or.jp/~t-hamayu/> E-mail：t-hamayu@vm.aikis.or.jp

**会長挨拶**

山本康夫

【仕事のストレス①】

過剰な仕事量は残業や長時間労働の原因となり、疲労回復の時間が取れずにストレスが溜まりやすくなります。

また、仕事の質は仕事へのやりがいや適性、難易度や評価に関係するもの。かんたんすぎる仕事はやりがいの喪失につながり、反対に難しすぎる・苦手な仕事はできないことに対するストレスが生じます。

こうした状況は適切な評価が受けられない要因ともなり、複合的にストレスが高まってしまうのです。

そのほか、従業員のキャパシティを超えた仕事を任せたり、成果を求めたりするのもストレスの原因になります。

得意・不得意に合わせた業務の割り振りやパフォーマンスを最大限発揮できる配置が重要です。

本日のロータリーソング

君が代
四つテスト

**Today's Meeting**

2026 年 5 月 12 日 (火)
クラブフォーラム
田辺はまゆう RC 会員
職業紹介②

Next Week's Meeting

2026 年 5 月 19 日 (火)
外卓
田辺工業高等学校
校長 辻 強志様

出席報告

(第 1542 回)

会員数	出席免除	欠席者	出席率
27 名	2 名	10 名	60%

幹事報告**メークアップ**

○加藤喜則 4/19 「新旧合同クラブ社会奉仕委員長会議」
和歌山市

例会変更

○海南東 RC 5/4 (月・祝) → 休会
5/11 (月) → 5/10 (日) 家族例会 宝塚

5/18 (月) → 19 : 00 ～ «夜間例会»

配布

○週報 1542

回覧

○那智勝浦 RC 週報

○岸和田ロータリーアクトクラブ 50 周年式典のご案内

お知らせ

○4 月 25 日 (土) 田辺 3 クラブ・白浜・太子・羽曳野・富田林
合同ゴルフ&親睦会

(ゴルフ) 天野山カントリークラブ (大阪府堺市)

(懇親会) グラウンドホテル二葉

※山本康夫君、杉山竜二君 参加よろしくお願いします。

○4/28 (火)・5/5 (火・祝) の当クラブの例会は休会です。

委員長報告

◎2026-2027 奉仕プロジェクト 委員長 加藤喜則



4月19日、和歌山県 JA ビルでの開催の「新旧合同クラブ社会奉仕委員長会議」の内容について報告。

当日は、地区内各クラブの新旧奉仕プロジェクト委員長の他、インターアクトクラブ（高校生）が一同に会し、インターアクトクラブ3校、ロータリークラブ2クラブが取り組み事例を

発表。その後、約10グループに分かれてインターアクトクラブとロータリークラブで、今後一緒に取り組みをするならどんなことができるか、インターアクトクラブがロータリークラブに求めることとは等、ディスカッションしました。

総評で、岡本ガバナーエレクトから、「インターアクトクラブを設立できていない地域については、まずロータリークラブ同士で連携して、各高校に働きかけて下さい」との宿題をいただきました。

◎雑誌・広報・会報委員会 委員長 光吉直也



ロータリーの友 4月号紹介



プログラム

「2026-2027 年度のためのクラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー（CLLS）報告会」



国際ロータリー第2640地区 2026-2027年度 ガバナー 略歴



氏 名 岡本 弥生(おかもと ますお)

所 属 クラブ 河内長野高野街道ロータリークラブ

生 年 月 日 1980年4月12日

職 業 分 類 観光サービス

学 歴 天理大学国際文化学部 卒業

職 歴 一般社団法人TERA KO-YA 代表理事 現職
PowerNow株式会社 取締役 現職

ロータリー歴

2015年7月1日 河内長野高野街道ロータリークラブ入会

2015-2016年度 地区幹事

2017-2018年度 クラブ幹事

地区幹事補佐

2018-2019年度 地区幹事

2020-2021年度 地区幹事

2021-2022年度 地区幹事

2023-2024年度 クラブ会長

地区職業奉仕委員長

地区研修委員

地区社会奉仕委員

地区RLI委員

2024-2025年度 クラブ幹事

ガバナー補佐

地区青少年奉仕委員長

地区社会奉仕委員

ガバナーノミニ

2025-2026年度 ガバナーエレクト

地区社会奉仕委員長

地区青少年交換委員長

地区行動計画委員

R 財団寄付 ポール・ハリス・フェロー
ベネファクター

加藤喜則君



岡本今年度ガバナーより、「これからの第2640地区を考えた時、これまでの延長線ではなく、新しい選択肢を示す必要がある。しかし、これは急激な改革を行うことではなく、新しい風を吹き込み、地区内のロータリークラブの会員一人ひとりのやる気・元気・活気を呼び起こすことが必要である」との見解を示されました。

さらに、次年度の重点事業案を3点示されました。

重点事業案その①

地区内奉仕活動の見える化と参加の仕組み作り

奉仕活動を従来の単体クラブの事業だけでなく、クラブの枠を超えて、つなぐ仕組みづくりが示されました。各クラブの奉仕活動の事業計画を地区が吸い上げ、地区内クラブが情報共有することで、他のクラブの奉仕活動に参加しやすいように情報の見える化を図ります。

重点事業案その②

児童養護施設利用者応援事業

身近な地域課題である「児童養護施設利用者」の課題、事情により両親と共に住めない子どもたちの本当の課題の洗い出しにより、ロータリークラブが地域に寄り添う姿を示す取り組みに重点を置きます。地区として、単なる寄付で終わるのではなく、継続的な支援を目指します。

重点事業案その③

会員増強事業

会員増強は、あくまで結果であり目的ではありません。ロータリークラブが取り組んできた奉仕が、きちんと伝わった結果として「一緒にやりたい」と思ってもらえるかどうか、その先に会員増強の結果があるとの考え方が示されました。よって、会員増強を手段化するのではなく、奉仕の共感を広げ、仲間を増やす、その考え方にアップデートすべきとのことです。

以上のことから

次年度、奉仕プロジェクトとして、たくさんの宿題を頂きましたが、理事・会員の皆さんのご理解ご協力を得ながら、他クラブや地区との連携を強化してまいりたいと思います。



重点事業 施策案①

2026-2027年度 地区内奉仕活動の見える化と 参加の仕組みづくり



奉仕活動をクラブの枠を超えてつなぐ仕組みづくり。
これはCREATE LASTING IMPACTを体現する事業です。

奉仕活動を阻む要因

- ・会員減少が進むクラブの増加
- ・加齢による体力面の課題
- ・人数や資金不足
- ・奉仕活動のマンネリ化
- ・地域ニーズを捉える難しさ

それでも奉仕をしたいという熱い想いは我々ロータリアンにはあります。

会員一人ひとりの想いがあるとします。

- ・自クラブにはない奉仕活動への関心
- ・「本当は参加してみたい」活動がある
- ・奉仕をしたい気持ちを十分に活かしていない現状

多くの会員が「もったいなさ」を感じているのではないのでしょうか。

そこで地区として以下の事業を行いたいと考えています。

- ・地区内で行われている奉仕活動を「見える化」
- ・クラブの枠を超えた 奉仕活動への参加を可能に
- ・希望が合えばクラブ外からの参加も歓迎

決して強制ではなく、希望がマッチした場合の環境を創造し
地区がマッチング役を務めます

この事業で目指すこと

- ・奉仕をしたいという想いに
広く応える環境づくり
- ・奉仕の機会を増やし、
ロータリーの誇りを
実感できる場を増やす

各クラブへの具体的な協力要請内容(想定)

地区内奉仕活動の見える化と参加の仕組みづくり

担当委員会(国際奉仕委員会&地域社会奉仕委員会&IT委員会)

- ① 各クラブの(地域・国際)奉仕活動計画および予定情報(日時、概要、希望外部協力内容)とクラブ外協力の受入れ可否ならびに受入担当者連絡方法を地区へ提供
STEP1 地区から各クラブへ情報提供依頼
STEP2 各クラブの情報を地区HPに公開
STEP3 各会員がHPで気になった活動に参加(実施クラブの担当者に連絡を取る)

担当委員会(ポリオ根絶活動委員会&IT委員会)

- ② ポリオ根絶活動展開イメージ
1. 各地のお祭りやイベントに各クラブが参加されるのであれば、そこに地区内の他のクラブ会員も共に参加出来る環境を創りたい。
2. また、特別なテーマをお持ちでイベント参加される場合はそちらを優先して頂きつつ、もし特別なテーマがない状況であれば「END POLIO NOW」テーマで参加頂きたい。
3. そのイベントでパレードや踊りなどがあるようであればロータリーチームとして参加申請をクラブからして頂き、地区内外のロータリアンもポリオTシャツを着てパレードに参加する！
STEP1 各クラブへ情報提供依頼
STEP2 各クラブの情報を地区HPに公開
STEP3 各会員がHPで気になった活動に参加(実施クラブの担当者に連絡を取る)

期待されるインパクト

- ・奉仕参加機会の拡大
- ・クラブ間および会員間交流の促進
- ・会員満足度の向上
- ・ロータリーで活動する誇りの醸成

菅根 清君



私は、米山記念奨学会の分科会に参加してきました。講師は次年度米山記念奨学会委員会委員長の細川幸三様(御坊東 RC)です。

米山記念奨学会とは、日本で最初のクラブである東京 RC を創立した米山梅吉氏の生前の功績をたたえ、海外から優秀な学生を日本に招き勉学を支援する事業として始まりました。今年度は940人程度

の留学生を支援しています。本年度の2640地区は20名の奨学生を支援しています。この募集には60名程度の募集があったそうです。留学の目的と将来の目標、人間性や人柄、交流への熱意、将来その国との懸け橋となる人、等を採用するときの基準としているそうです。

寄付については、普通寄付金として6,000円(クラブから)、特別寄付金として10,000円を目標にしています。もちろんこれ以上に寄付も受け付けています。

海外から来ていただいた留学生には、危機管理、自然災害、病気・事故(国民健康保険)そして、ハラスメント=セクハラ、パワハラなどが起こらないように注意しているとのことでした。

坂本耕作君



幹事とは？



とにかく守備範囲が広い

例会や行事の司会進行
出欠の点呼及び声掛け

会員増強が必達の使命



SNSを活用して広く活動内容を発信したり、公開例会を行ったりすることも有効



当日の様子

杉山竜二君



・マイロータリーに登録することで様々な資料が閲覧することが可能になる

・次年度はクラブ公共イメージに力を入れるテレビ・ラジオにCMに注力

・RIメッセージ（持続可能なインパクトを生み出そう）

・地区テーマ ロータリー会員であって良かったと感じられる一年に誇りを持てる地区

・次世代へつなげる地区

・クラブテーマ（みんなに奉仕みんなで交流）

・地区内の奉仕活動の見える化と参加の組織作り
→各クラブの活動・イベントを地区で共有する

・奉仕活動 児童養護施設利用者支援事業
卒業後の就職支援

・会員増強 奉仕の共感を広げ仲間を増やす



国際ロータリー第2640地区
2026-2027年度 ガバナー 就任経緯

持続可能な
インパクトを
生み出そう
CREATE LASTING IMPACT

第2640地区が置かれてきた状況

第2640地区では、ここ10年以上にわたって、地区の存続の危機とも言われる大きな問題が何度も発生してきました。その影響もあり、各クラブの地区離れが起こり、地区全体として少し閉塞感のある空気が残っているように感じています。

特異性

私は46歳でガバナーを拝命することになります。日本では現時点においては最年少でのガバナー就任です。ロータリー歴は11年、所属クラブは会員数17名(2026年1月末現在)の小規模クラブです。従来のガバナー輩出とは異なる状況です

私が見てきたロータリー

私は小学低学年の頃から、父の背中を通してロータリーを見てきました。当時のロータリーには、今よりも強い活気とエネルギーがあったように記憶しています。幼心に「カッコいいなあ」とロータリアンに憧れを感じたことを昨日のこのように感じています。その強い活気は今少し落ち着いているように感じる場面もありますが、ロータリーの価値そのものが失われたとは決して思っていない。

指名をお受けした背景

最初にガバナー指名のお話をいただいた時、私自身、経験も十分とは言えず、私はすぐにお引き受けすることができませんでした。

ロータリーにおいて師として、時に父のごとく尊敬している辻和バスターガバナーにも私と同じく指名委員会から、「これからの第2640地区を考えた時、これまでの延長線ではなく、新しい選択肢を示す必要がある」「小規模クラブであっても、ガバナー輩出クラブになれることを地区として示したい」「地区の将来を見据えた指名委員会の総意である」そうした想いを、丁寧に伝えていただきました。

辻バスターガバナー、そして私自身も、地区の将来を真剣に考えた結果、この役目をお引き受けし地区に少しでも貢献することを決断しました。

その中で、私に託された役割(ご期待と使命)は、急激な改革を行うことではなく新しい風を吹き込み、地区内のロータリークラブおよび会員一人ひとりの

ヤル気、元気、活気を呼び起こすことだと理解しています。

慣例にとらわれることなく、必要なところには必要な予算を投じ、確実に変化を生み出していく。それが私に課せられた使命であると考えています。

地区とクラブの関係について、私の考えを明確にしておきたいと思います。地区が主役になることはありません。主役は常にクラブであり、会員一人ひとりで。地区は、クラブが「やってみよう」と思った瞬間に背中を押せる存在でありたい。また、クラブや会員の想いを受け入れられる環境を整えておきたいと考えています。

16

ニコニコ箱

山本康夫 本日よろしくお願いします。

大田忠博 本日は CLLS 報告会、出席者の皆様、報告よろしくお願いします。

菅根 清 もう暑いくらいですね。皆さん、次回の例会は5月12日(火)だそうなので、間違わないようにしましょう。

加藤喜則 先日、和歌山南広域消防指令センター(田辺市消防本部内)へ視察しました。これまで119番の映像による通報実績は、火災、事故それぞれ1件ずつとのことで、今後も地域住民へのアプローチをしていきたいと言われておりました。本日よろしくお願いします。

高原 歩 本日よろしくお願いします。

中峰千世子 光吉直也 裏橋真琴 杉山竜二 //

坂本耕作 坂本晶彦 //